

第221回 信用保証利用企業動向調査

(2024年4～6月期実績、2024年7～9月期見通し)

福岡県信用保証協会は、株式会社日本政策金融公庫と共同で、福岡県信用保証協会をご利用いただいている中小企業に対し、景況・金融動向を把握するため、四半期毎にアンケートを実施のうえ発表しています。

なお、次の発表は2024年11月を予定しています。



— 今回の調査 —

【調査時点】	2024年6月中旬
【調査対象】	1,584企業
【有効回答数】	575企業（回答率36.3%）
【調査方法】	郵送またはWebによるアンケート調査



～ 福岡県内の景況・金融動向 ～

「県内信用保証利用企業の景況は、持ち直しの動きが緩やかになっています」

生産・売上 サービス業を除く全ての業種で改善し、特に製造業、建設業で大幅に改善しました。

採算 全ての業種で改善し、特に建設業、卸売業、製造業で大幅に改善しました。

資金繰り 小売業を除く全ての業種で改善し、特に建設業、卸売業で大幅に改善しました。

借入難易感 製造業、サービス業を除く業種で改善し、特に卸売業で大幅に改善しました。

■ お問い合わせ先

企業支援部 業務企画課 楠本・本田 電話092(415)2609

URL : <https://www.fukuoka-cgc.or.jp/> Mail : hoshou-kikaku@cgc-fukuoka.jp



概況

総合DIの推移

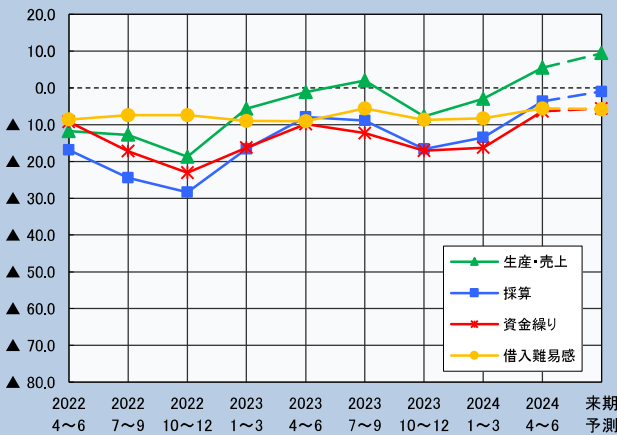
コメント ～福岡の景況は持ち直しの動きがみられる～

今期調査(2024年4～6月期)による景況動向指数は、前期(2024年1～3月期)実績に比べ、全国値では、採算DIは横ばい、生産・売上DI 資金繰りDI 借入難易感DIはマイナス幅がやや縮小しました。

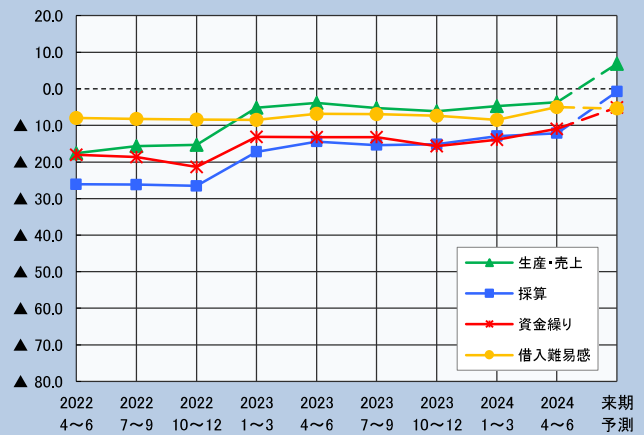
福岡では、生産・売上DI 採算DI 資金繰りDIはマイナス幅が縮小、借入難易感DIはマイナス幅がやや縮小しました。

来期予測について、全国および福岡ともに、借入難易感DIが横ばいとなる見込みとなっています。

福岡



全国



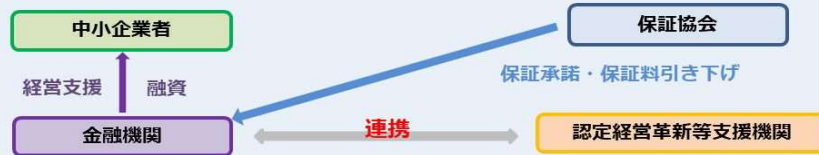
※景気動向指数DI(Diffusion Index)とは・・・

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加(または、好転、容易)」と回答した企業割合から、「減少(または、悪化、困難)」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因を控除した数値(季節調整値)です。

TOPICS

◆ 令和6年7月1日から、「経営力強化保証」の取扱いを開始しております！ ◆

金融機関が認定経営革新等支援機関と連携して、中小企業者の事業計画の策定支援や継続的な経営支援を行い、もって中小企業者の経営力の強化を図ることを目的とする「経営力強化保証」の取扱いを開始しております。



※金融機関自らが認定経営革新等支援機関である場合もあります

	一般	セーフティネット5号
保証限度額	2億8,000万円	
ご利用いただける方	認定経営革新等支援機関の支援を受けつつ 自ら事業計画の策定ならびに計画の実行および進捗の報告を行う方	
保証料率	0.45～1.75% (※1)	0.70% (※1)
金利	金融機関所定利率 (※2)	
資金使途	運転資金(借換含む)・設備資金	借換資金(借換+真水は可) (※3)
保証期間	運転 5年以内・設備 7年以内・借換10年以内 【据置1年以内】	10年以内 【据置1年以内】

※1 通常より1区分低い料率が適用。福岡県融資制度の場合：0.45～1.47%、福岡市融資制度の場合：0.28～1.27%

※2 福岡県融資制度の場合：固定1.10%、福岡市融資制度の場合：固定1.20%

※3 既往の新型コロナウイルス感染症関連保証に係る借入金の借換に限る



福岡県信用保証協会

本所企業支援部



0120-112-249

生産・売上DI

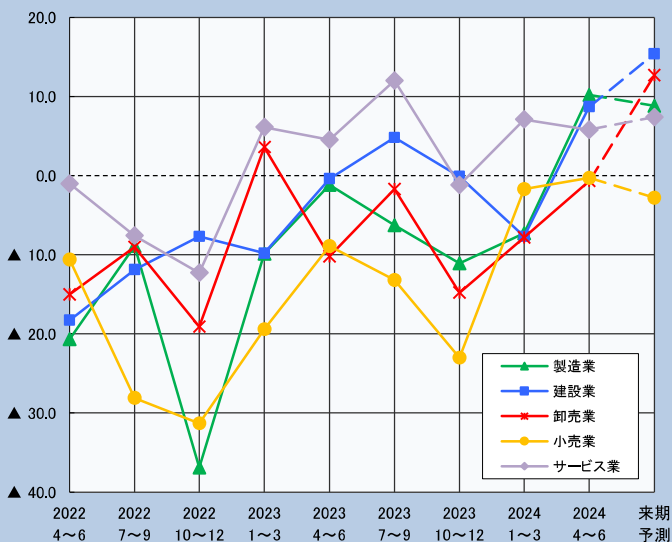
コメント ～サービス業を除く全ての業種で改善し、特に製造業、建設業で大幅に改善～

生産・売上DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ8.5ポイント改善し、5.5となりました。

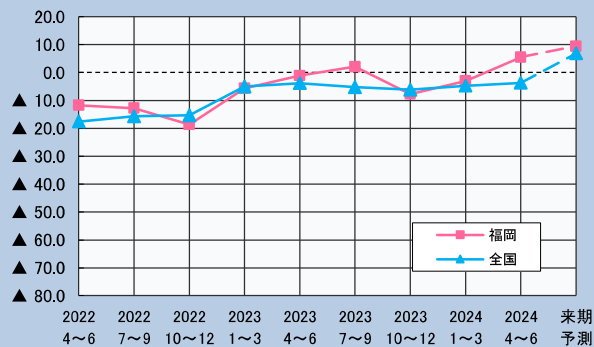
業種別では、前期実績に比べ、製造業は17.5ポイント、建設業は16.4ポイント大幅に改善し、卸売業は7.1ポイント改善し、小売業は1.4ポイントやや改善しました。一方で、サービス業は1.3ポイントやや悪化しました。

来期予測では、製造業、小売業を除く業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実産・売上DI推移(業種別)



全国と福岡県の実産・売上DIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合		▲ 1.2	5.5	9.4
製造業		▲ 2.2	10.2	8.8
建設業		2.4	8.7	15.4
卸売業		▲ 1.7	▲ 0.7	12.7
小売業		▲ 26.3	▲ 0.3	▲ 2.8
サービス業		4.0	5.8	7.4

採算DI

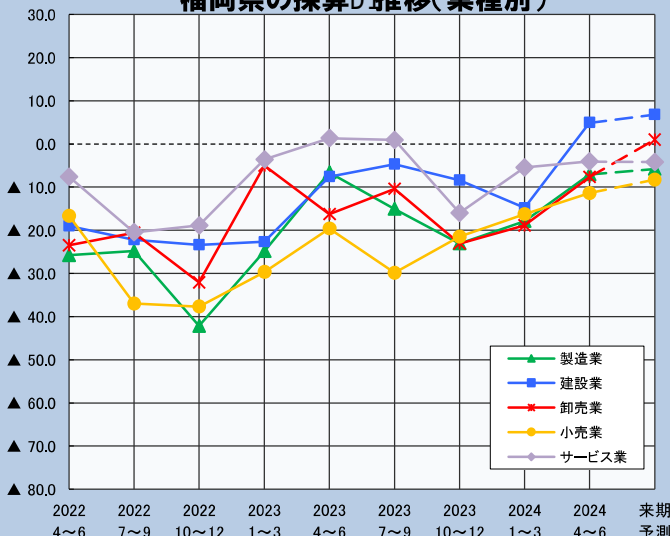
コメント ～全ての業種で改善し、特に建設業、卸売業、製造業で大幅に改善～

採算DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ9.8ポイント改善し、▲3.7となりました。

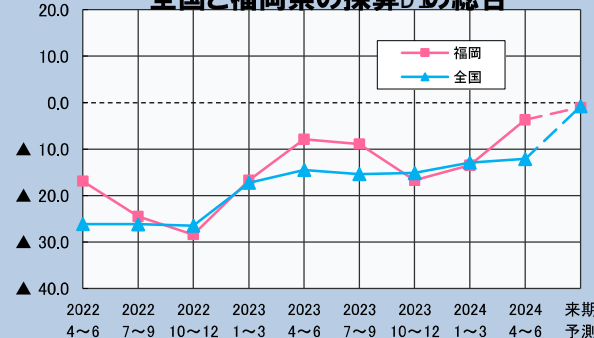
業種別では、前期実績に比べ、建設業は19.7ポイント、卸売業は11.2ポイント、製造業は10.8ポイント大幅に改善し、小売業は4.9ポイント、サービス業は1.4ポイントやや改善しました。

来期予測では、サービス業を除く全ての業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の採算DI推移(業種別)



全国と福岡県の採算DIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合		▲ 8.1	▲ 3.7	▲ 1.0
製造業		▲ 7.0	▲ 7.1	▲ 5.8
建設業		▲ 7.4	4.9	6.8
卸売業		▲ 7.4	▲ 7.7	1.0
小売業		▲ 30.3	▲ 11.4	▲ 8.3
サービス業		▲ 0.3	▲ 4.1	▲ 4.2

資金繰りDI

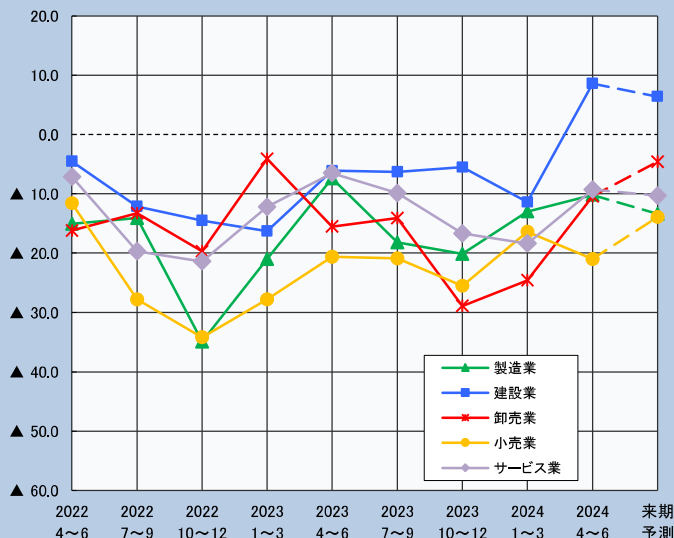
コメント ～小売業を除く全ての業種で改善し、特に建設業、卸売業で大幅に改善～

資金繰りDIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ9.9ポイント改善し、▲6.4となりました。

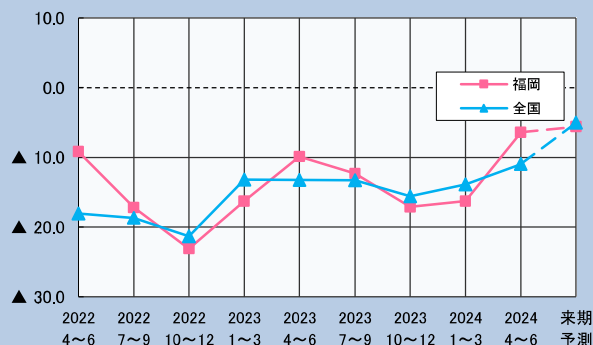
業種別では、前期実績に比べ、建設業は20.0ポイント、卸売業は14.2ポイント大幅に改善し、サービス業は9.1ポイント改善し、製造業は2.8ポイントやや改善しました。一方で、小売業は4.6ポイントやや悪化しました。

来期予測では、卸売業、小売業を除く業種で悪化する見込みとなっています。

福岡県の資金繰りDI推移(業種別)



全国と福岡県の資金繰りDIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲12.6	▲12.6	▲6.4	▲5.6
製造業	▲5.9	▲5.9	▲10.2	▲13.4
建設業	▲13.3	▲13.3	8.6	6.4
卸売業	▲18.8	▲18.8	▲10.4	▲4.6
小売業	▲28.0	▲28.0	▲21.0	▲13.9
サービス業	▲5.5	▲5.5	▲9.3	▲10.3

借入難易感DI

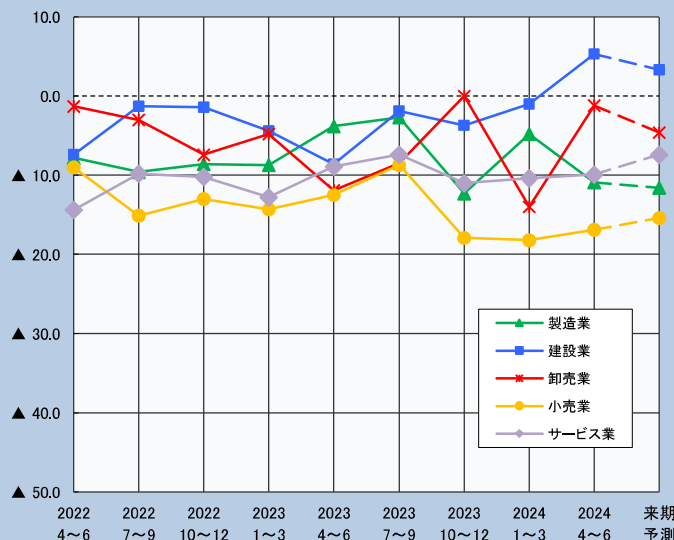
コメント ～製造業、サービス業を除く業種で改善し、特に卸売業で大幅に改善～

借入難易感DIについて、福岡総合値では、前期実績と比べ2.7ポイントやや改善し、▲5.6となりました。

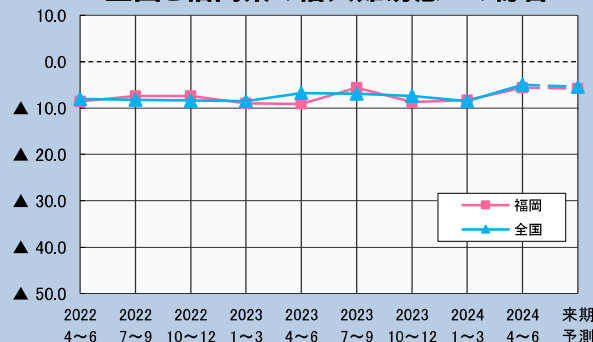
業種別では、前期実績に比べ、卸売業は12.8ポイント大幅に改善し、建設業は6.3ポイント改善し、小売業は1.3ポイントやや改善し、サービス業は横ばいとなりました。一方で、製造業は6.1ポイント悪化しました。

来期予測では、サービス業、小売業を除く業種で悪化する見込みとなっています。

福岡県の借入難易感DI推移(業種別)



全国と福岡県の借入難易感DIの総合



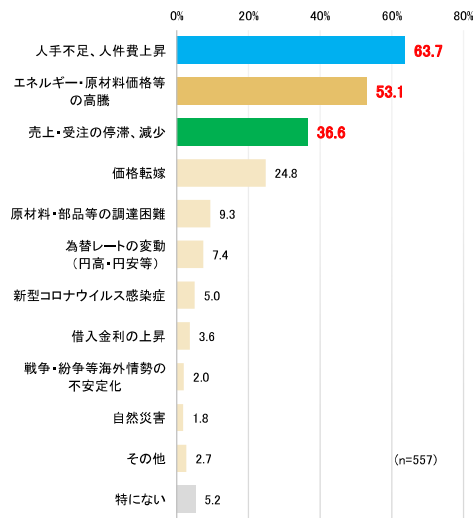
	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲11.0	▲11.0	▲5.6	▲5.8
製造業	▲9.6	▲9.6	▲10.9	▲11.6
建設業	▲8.8	▲8.8	5.3	3.3
卸売業	▲15.4	▲15.4	▲1.2	▲4.6
小売業	▲20.5	▲20.5	▲16.9	▲15.4
サービス業	▲7.9	▲7.9	▲9.9	▲7.4

経営環境において直面している課題及び信用保証協会による専門家派遣事業について

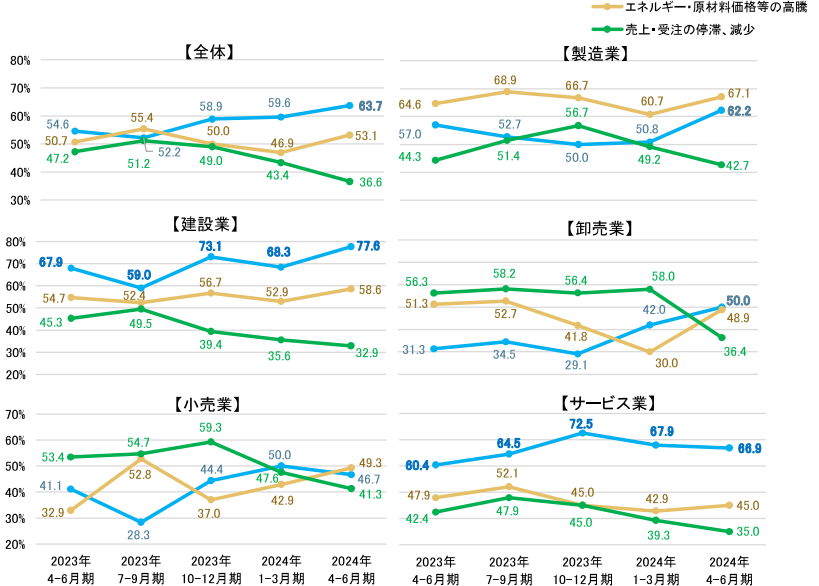
1. 経営環境において直面している課題について

- ・2024年4-6月期の経営環境において直面している課題については、「人手不足、人件費上昇」(63.7%)が最も多く、次いで「エネルギー・原材料価格等の高騰」(53.1%)、「売上・受注の停滞、減少」(36.6%)の順となっている。
- ・業種別に課題の推移をみると、小売業及びサービス業を除く業種で「人手不足、人件費上昇」が前期と比べて上昇しており、卸売業は今期、最も多くなった。建設業及びサービス業においては恒常的に多くなっている。

(1) 経営環境において直面している課題



(2) 経営環境において直面している課題(上位3課題)【業種別】



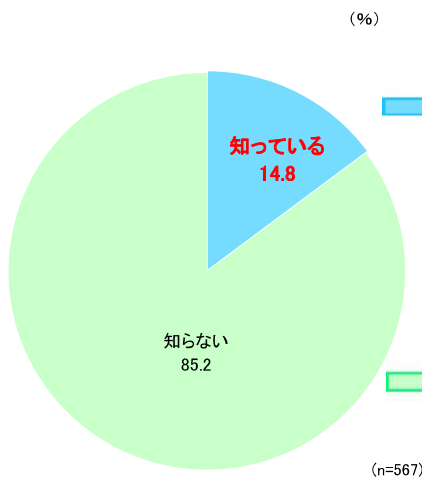
(注) (1)、(2)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。

2. 信用保証協会による専門家派遣事業について

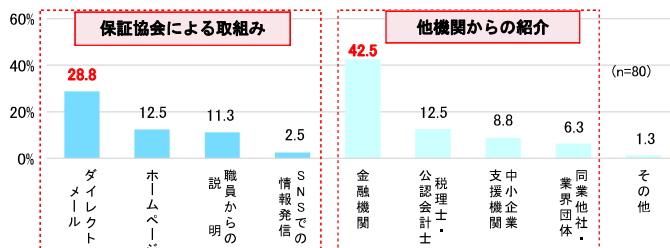
- ・専門家派遣事業*の認知度については、「知っている」が14.8%となっている。
- ・専門家派遣事業を知った経緯、どのようなきっかけがあれば知ることができたかについては、保証協会による取組みでは、ともに「ダイレクトメール」(経緯:28.8%、きっかけ:27.9%)が最も多く、他機関からの紹介では、ともに「金融機関」(経緯42.5%、きっかけ:40.4%)が最も多くなっている。

* 本調査における専門家派遣事業とは信用保証協会(以下、「保証協会」という)による専門家派遣事業のことをいう。

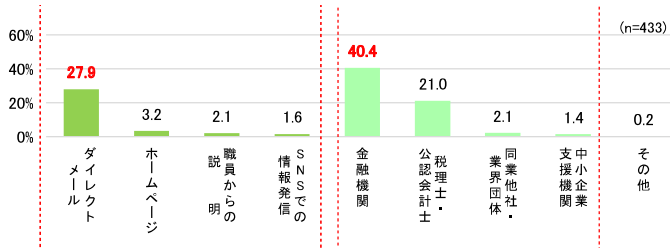
(1) 専門家派遣事業の認知度



(2) 専門家派遣事業を知った経緯((1)で「知っている」と回答した企業)



(3) どのようなきっかけがあれば知ることができたか((1)で「知らない」と回答した企業)

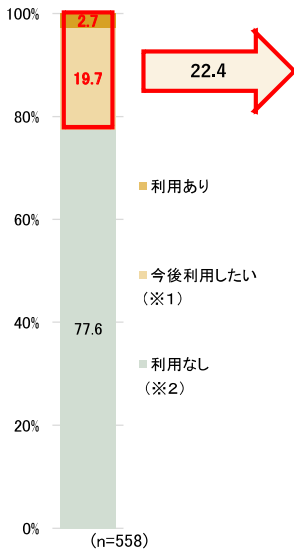


(注) (2)は複数回答のため、合計は100%を超える。(3)は単一回答。

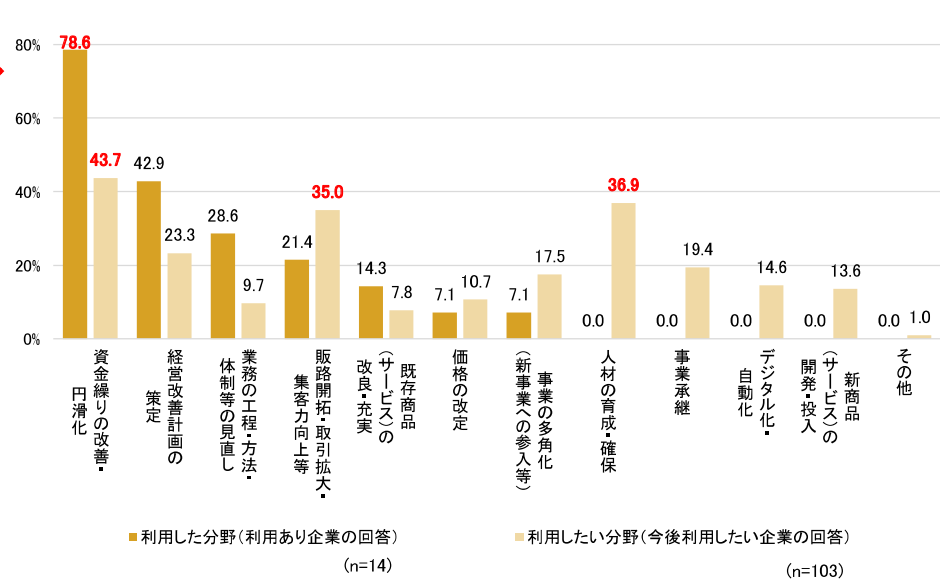
2. 信用保証協会による専門家派遣事業について

- ・専門家派遣事業の利用状況については、「利用あり」が2.7%、「今後利用したい」が19.7%となっている。
- ・専門家派遣事業を利用した分野については、「資金繰りの改善・円滑化」が78.6%と最も多くなっている。
- ・専門家派遣事業を利用したい分野については、「資金繰りの改善・円滑化」(43.7%)が最も多く、次いで「人材の育成・確保」(36.9%)、「販路開拓・取引拡大・集客力向上等」(35.0%)の順となっている。

(4) 専門家派遣事業の利用状況



(5) 専門家派遣事業を利用した分野、利用したい分野



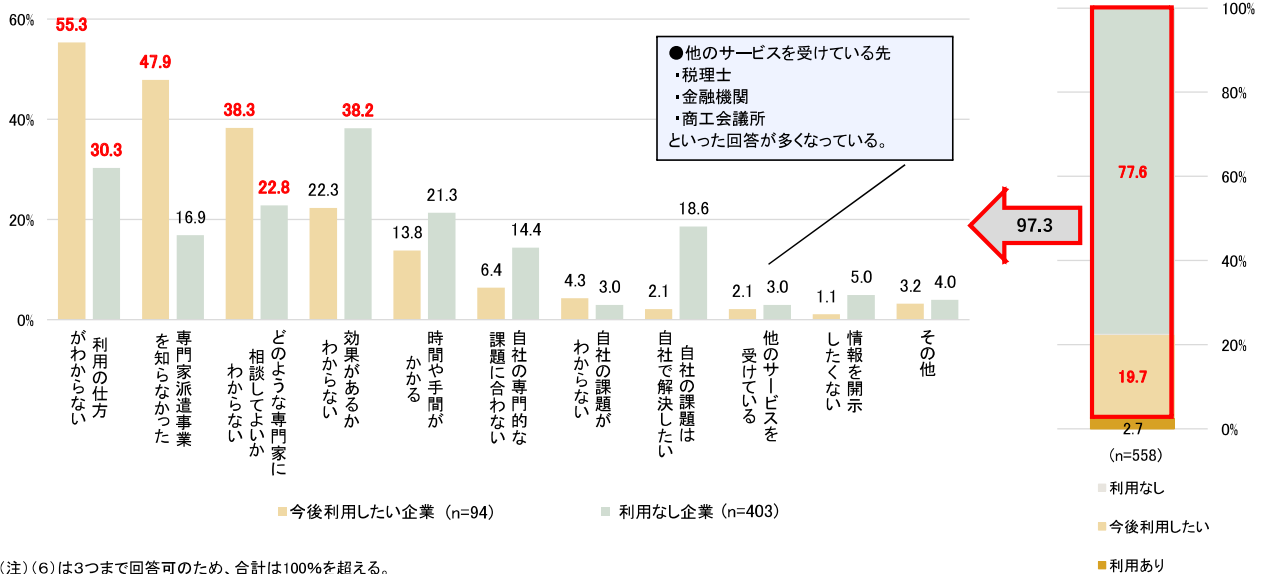
(※1)「今後利用したい」: 利用したことはないが、今後利用したいと回答した企業 (以下同じ)。
 (※2)「利用なし」: 利用したことがなく、今後利用する予定もないと回答した企業 (以下同じ)。

(注) (5)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。

2. 信用保証協会による専門家派遣事業について

- ・専門家派遣事業の利用状況別に利用したことがない理由をみると、今後利用したい企業については、「利用の仕方がわからない」(55.3%)が最も多く、次いで「専門家派遣事業を知らなかった」(47.9%)、「どのような専門家に相談してよいかわからない」(38.3%)の順となっている。一方、利用なし企業については、「効果があるかわからない」(38.2%)が最も多く、次いで「利用の仕方がわからない」(30.3%)、「どのような専門家に相談してよいかわからない」(22.8%)の順となっている。

(6) 専門家派遣事業を利用したことがない理由【利用状況別】

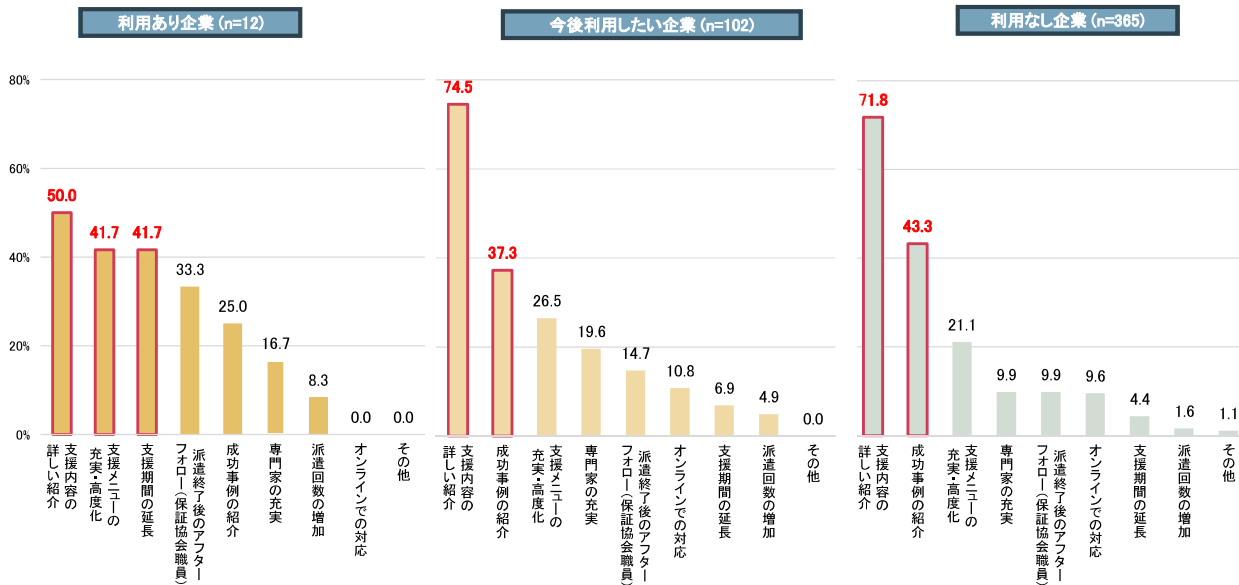


(注) (6)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。

2. 信用保証協会による専門家派遣事業について

- ・専門家派遣事業の利用状況別に今後期待することをみると、利用あり企業、今後利用したい企業及び利用なし企業ともに、「支援内容の詳しい紹介」が最も多くなっている。
- ・利用あり企業については、「支援内容の詳しい紹介」に次いで、「支援メニューの充実・高度化」、「支援期間の延長」が多くなっており、事業内容の拡充について期待されていることがうかがえる。
- ・今後利用したい企業及び利用なし企業については、「支援内容の詳しい紹介」に次いで、「成功事例の紹介」が多くなっており、支援内容や利用効果について関心が高いことがうかがえる。

(7) 専門家派遣事業について今後期待すること【利用状況別】



(注) (7)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。